

パワフルAOMORI！創造塾 講座第6回

「これは試したい！人間関係づくりプログラム講座」

平成27年10月17日(土) 青森県総合社会教育センター 参加者17名

元気な青森を創造する人財育成事業「パワフルAOMORI！創造塾」講座第6回は、「これは試したい！人間関係づくりプログラム講座」というテーマで、社会教育センター職員が担当し、実施しました。団体や事業の運営をする上で、効果的な人間関係づくりのプログラムについて体験をとおして学びました。

アイスブレイク

氷(不安や緊張)を溶かし、その後の活動が円滑に行われるように、学習者の緊張をほぐすためのウォーミングアップツールであるアイスブレイク。今回は、一つでも多く体験してもらおうということで、「絵画性格診断」と「あたっく25」を取り上げ実施しました。

◆「絵画性格診断」

・5分間で「山・川・太陽・木・家・蛇」を1枚の紙に書き、それぞれの数や大きさ、形等で性格診断するものです。

山…人生の目標 川…心の豊かさや広さ
 太陽…現在の心境 木…知的的好奇心
 家…家庭への関心度 蛇…異性への興味

目的はメンバー間の緊張をほぐすためですので、診断について深く考えすぎず、楽しい雰囲気を進めます。

◆「あたっく25」

・質問が25書かれた質問シートを持ちながら、自由に歩き回り、できるだけ多くの人と自己紹介をするものです。1人に対して1つ好きな質問をします。時間は人数等で自由に設定します。

人間関係プログラム

参考文献「GWT (グループワーク・トレーニング) のすすめ」
 (日本グループワーク・トレーニング協会編遊戯社)

◆「寝台特急『はやぶさ』殺人事件」

- ・ヒントが書かれた「情報カード」を、トランプを配る要領でメンバーにふせたまま分ける。
- ・各自の情報を口頭で伝えながら、制限時間内に犯人とその理由を導き出します。
- ・情報は口頭で伝え、他人の情報カードを覗き込んだり、メンバーに見せたり、渡したりしない。

◆「タワービルディング」

- ・コピー用紙や画用紙など、用意された紙を使って、グループで協力して、タワーを作る。
- ・高さ・安定性・デザイン性で審査し、最優秀タワーを1つ決定する。
- ・制作に入る前に作戦会議の時間をとり、制作の方向性を決める。

上記の下線——は、自分の考えていることや思っていることは言葉で話さないと伝わらないことが多い。それを意識して、自分の持っている情報は、自分の口からはっきり言葉で伝えてほしいというねらいに基づいて設定している。

参加者の声

- ・「皆で協力し、一つの作品を作り上げることはコミュニケーションなしで作り上げることはできない。Face To Face が大事だとわかった。」
- ・「初めて参加しましたが楽しい時間でした。皆の意見を集約することの大切さを学びました。」

まとめ

初めて顔を合わせる参加者がほとんどでしたが、アイスブレイクや人間関係づくりプログラムをとおして、心の氷も溶け、活発にコミュニケーションがとれるようになっていました。

会議や研修会等の前半部分での導入することにより、本題での話し合いが円滑に進むことが考えられます。様々なプログラムがネット上に紹介されていますので、是非取り入れてみてはいかがでしょうか？

あたっく25！！ インタビューゲーム 氏名

	名前	質問	回答
1		出身地はどこですか？ →地元の名産品や、地元出身の有名人(いれは)	
2		好きな有名人 →どういふところが好きですか？	
3		今、一番食べたいものは？ →なぜですか？	
4		「これは苦手なんだよね～」というコトは？	
5		小さい頃はどんな子でしたか？	
6		今まで行った一番面白い場所 →どういふ目的で行きましたか。	
7		5年後の自分はどうなっていると思いますか？	
8		悪そうと思っているがなかなか置せないところは？	

⋮

対象によって、自由に質問を変更できます。質問内容が決まっていると、自己紹介もスムーズにいき、また、その質問からさらにコミュニケーションが進む場面が見られます。